

<メソッド2>大アルカナ22枚で3つの心理を見通す。

大アルカナ22枚で自分と相手の個人的無意識と集合的無意識の3つの心理を見通す。

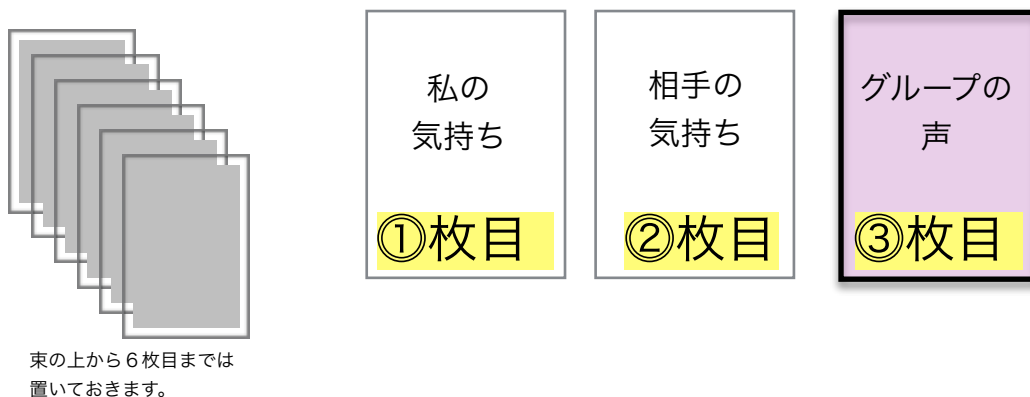
（私と相手の心理とそれを含む集合的無意識を読み解き、気づきを生み出そう。）

対人関係に悩んだ時、人はグルグルした悩みから抜け出しにくくなります。なぜならば、どうしても相手を変えよう、コントロールしようという気持ちが大きくなってしまいうからです。他人と環境を変えようとして思い通りにならず落胆を繰り返す・・・というループにはまります。また相手の顔色を伺いすぎて行動できない・・・なんてことも。一対一の関係にとらわれるとどうしてもこういったことが起こりがち、これもいわば運命のハンドルが自分の手元にない状態です。

そこで、このメソッドでは、ただ自分と相手の心理を見るだけではなく、その二人を含む集合的無意識の声を聞くことで、新しい気づきを起こしていこうという試みです。

また、4枚目の「想いのフラグ」は。あなたが相手にどうあってほしいか？ではなく、二人がどのようなムードに包まれていれば良いと思うのか？という想いのフラグを立てることで、対人関係においても「運命のハンドル」を手にしていく感覚をインストールするものです。

手順1）まずは、3枚目までをカードを展開していきます。



手順2）カードを解釈していきます。

1枚目：私が相手に対してどう思っているか？（個人的無意識）

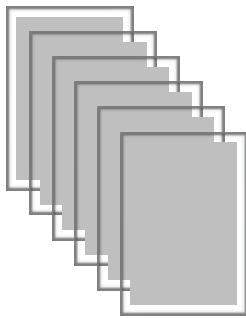
2枚目：相手が私に対してどう思っているか？（個人的無意識）

3枚目：私とあなたが属するグループ（＝集合的無意識）の声

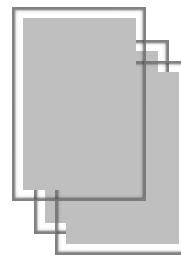
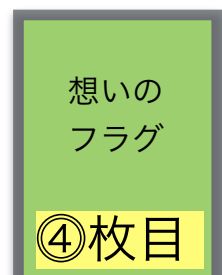
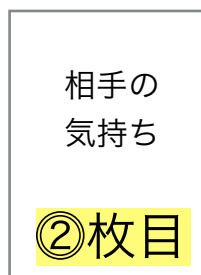
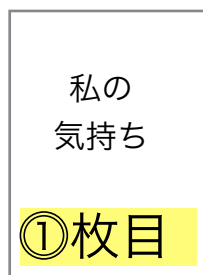
（夫婦なら**家の夫婦、会社ならその会社名）

手順3）4枚目を選びます。

4枚目として、残った大アルカナより、自分の想いを表現している1枚を目で見えて選びます。
「二人が（もしくはそのグループが）どのようなムードに包まれていればいいか？」をイメージできる1枚を絵を見て選びましょう。



束の上から6枚目までは置いておきます。



使用していない
手元のカード（13枚）の表の絵を
見てじっくりくる1枚を選択

想いのフラグとしてあなたが絵を見て選んだ4枚目のカードは「」でした。

このカードは、あなたの魂が求める二人の関係性が醸し出すムードを表しています。運命のハンドルを取り戻した時に得られるグループ（二人）の未来です。

さて、そうイメージした時、このムードにタイトルがあるとするなら、どんなタイトルでしょうか？

タイトル「」

ワークは以上となります。運命のハンドルはあなたの手に戻りました。

常に最後のタイトルを思い出すことで、未来の集合的無意識の波動をあなた自身にダウンロードすることができます。その状態で 相手と対話したり、メールを書いたり、

B:で書いたことを実践してみましょう。

<このワークは以上です！>